

幸消防団

だより

第64号

発行 令和元年7月
川崎市幸消防団
団長 高橋 克明
題字 山田 吉三郎



団長挨拶

川崎市幸消防団
団長 高橋

克明

令和元年五月十二日、第四十七回幸消防団ポンプ操法大会が盛大に挙行され、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、消防団関係の皆様など、多数の方々のご臨席をたまり、厚く御礼申し上げます。

本大会は、消防団員が火災防ぎよ活動をするにあたり、規律ある行動、的確な命令・伝達、正確な小型ポンプ操作技術及び火点への正確な放水を競う等、災害現場における対応能力の向上、更に、士気の高揚を図ることを目的としております。

選手の皆さんには、日頃の訓練成果をいかに発揮し、ご臨席の皆様方に、安全、確実、迅速な操法を披露していただき大変感謝しております。

また、幸防火協会会長賞、幸消防研究会会長賞、東芝賞、J A セレサ川崎賞、幸消防関係団体OB会会長賞が、優勝した第二分団に授与され、大会を盛り上げていただきましたことを感謝しております。

第二分団、四連覇おめでとう。他の分団におかれましては、次回、優勝を目指し、今後とも訓練に励んでください。

結びになりますが、大会当日ご臨席いただきました、ご来賓の皆様方におかれましては、消防団活動に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、本大会の開催にあたり、訓練場所などについて特段のご配慮を賜りました、株式会社東芝小向事業所様、キヤノン株式会社川崎工場様に、心からお礼を申し上げ、更に、ご臨席の皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたします。ご挨拶いたします。



署長挨拶

川崎市幸消防署
署長 田中

信一

第二分団の皆さん「優勝・四連覇」おめでとうございます。

第四十七回幸消防団ポンプ操法大会は好天に恵まれ、また、多くのご来賓にご臨席をいただき、盛大に挙行されましたことに、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

このたび、各分団のポンプ操法と第四分団の女性団員の操法では、連日連夜の訓練成果が十分に発揮できたのではないかと拝見させていただきました。また、訓練を実施してきた選手、サポートしていた団員の方々及び団員のご家族、並びに、地域の皆様には多大なご協力をいただきまして大変感謝しております。

我々消防機関といたしましては、年間を通しての火災、救急、救助活動はもとより、近年の自然災害及び特殊災害を危惧しております。また、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての警備体制の強化など、気を緩めることができない日々が続いております。

消防団

三原則

一、隣保共助

一、郷土愛護

一、犠牲奉公

第47回 幸消防団ポンプ操法大会

令和元年5月12日(日)河原町グラウンドにおいて第47回幸消防団ポンプ操法大会が開催されました。

大会結果

優勝

第2分団

敢闘賞

第1分団・第3分団・第4分団

個人賞

指揮者 生方部長(第1分団)

一番員 伊藤団員(第4分団)

二番員 塩田班長(第3分団)

三番員 安達団員(第2分団)



まず始めに、応援、ご指導していただいた方々にお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。指揮者をやるに当たり、新人団員とのコミュニケーションをとることが一番大切なことだと考え練習に取り組みました。大会本番でも四人が一つになり競技出来たと思います。息子と大会に親子で出場し優勝することが出来とてもうれしく思います。

この優勝を心の糧とし来年の大会では指導者となり金の纏(まとい)をもう一度幸の地に持って帰りたいと思います。

優勝した第二分団 指揮者安達部長のコメント



祝 第二分団 四連覇を飾る

個人賞を受賞した選手のコメント

【指揮者の部 生方部長(第一分団)】
指揮者での個人賞、大変光栄に思います。
一緒にチームを組んだ3人にも感謝しております。今後は後進の団員を育て、個人賞ではなくチームの優勝を目指します。



【一番員の部 伊藤団員(第四分団)】
今大会は第四分団としての結果は残念でしたが、個人賞を取れたことは大変うれしく思います。忙しい中、訓練に参加していただいた第四分団の皆様、本当にありがとうございました。これからもご指導よろしくお願います。



【二番員の部 塩田班長(第三分団)】
皆様のご指導のおかげをもちまして、個人賞をいただくことができました。ありがとうございます。
来年こそ最優秀分団賞をいただけるよう団員全員で頑張りたいと思います。



【三番員の部 安達団員(第二分団)】
操法大会を終え、訓練中、ご指導と応援をいただいた分団の皆さん、共に訓練に励んだ選手の皆さんに心より感謝申し上げます。父と共に出場した操法で良い結果を得られたことを嬉しく思います。これからも消防団活動に尽力いたします。



女性消防団員

今年もポンプ操法を披露

左から

指揮者	青木 真弓	班長
水利補助員	竹生 恵美子	班長
1番員	吉村 ゆきの	団員
2番員	小西 明日香	団員
3番員	出口 智子	団員



幸消防団 今後の活動予定表(案)

令和元年

- 8月中旬 大田区平和都市宣言
「花火の祭典」警備
- 9月8日 川崎市総合防災訓練
- 中旬 新入団員研修
- 10月中旬 幸区民祭警備及び広報活動
- 11月上旬 秋の火災予防運動
- 下旬 幸消防団幹部特別講習
- 12月下旬 年末火災特別警備

令和2年

- 1月上旬 幸地区消防出初式
- 下旬 文化財防火デー消防訓練

受賞 おめでとうございます

◎消防庁長官表彰
本年勤続功労章 (三月六日)

本 団 広報部長 中村 泰司

◎日本消防協会会長表彰 (三月五日)
勤続章 (三十年)

第四分団 部長 山本 功

◎神奈川県知事表彰 (三月二十八日)
本年勤続優良消防団員 (三十年)

第四分団 部長 山本 功
元第三分団分団長 首藤 幹夫

◎神奈川県消防協会会長表彰
功績章 (三月二十八日)

第四分団 副分団長 岩瀬 宏
第四分団 部長 山本 功

勤続章 (二十年)・精勤章 (二十年)

第一分団 班長 佐藤 健治

第二分団 分団長 吉岡 雅之

第三分団 副分団長 伊藤 厚

第三分団 団員 上野 泰弘

第四分団 班長 小原 良

第四分団 班長 小倉 高志

第四分団 団員 影山 富範

精勤章 (十年)

第一分団 団員 飯田 千春

第一分団 団員 入澤 茂

第四分団 団員 近藤 信吉

第四分団 団員 耳田 英恵

精勤章 (五年)

第二分団 団員 兼尾 大輔

第三分団 団員 加野 慎吾

第三分団 団員 鈴木 健

第四分団 団員 竹島 輝

幸消防団 幹部紹介

(令和元年六月一日付)

本 団

団 長 高橋 克明

副 団 長 上田 常晴

副 団 長 蒲田 賢

庶務部長 中西 善博

警務部長 松井 満

消防部長 中村 泰司

第一分団

分団長 細谷 三康

第二分団

分団長 吉岡 雅之

第三分団

分団長 成川 秀幸

第四分団

分団長 村石 勉

退団された方々

(平成三十一年二月二十八日付)

元第四分団 副分団長 高村 雅之 様

(平成三十一年三月三十一日付)

元第一分団 副分団長 梶 光浩 様

(令和元年五月三十一日付)

元本 団 庶務部長 塩澤 秀夫 様

元第四分団 副分団長 小林 範彦 様

永い間
お疲れ様でした



幸消防署 幹部紹介

(平成三十一年四月一日付)

署 長

副 署 長 田中 信一

警防統括担当課長 石井 豊

予防課 福原 進

予防課 小金澤 貴史

庶務係長 吉村 秀久

予防係長 辻本 学

危険物・査察係長 小林 竜太郎

警防第一課

警防第一課長 北嶋 知巳

警防係長 早坂 保

調査係長 左藤 昇

救急係長 我妻 孝浩

南河原出張所長 板垣 憲明

平間出張所長 室賀 康広

加瀬出張所長 加藤 高明

警防第二課

警防第二課長 立花 将一

警防係長 鳴海 雅昭

調査係長 小坂 勇次

救急係長 小澤 英祐

南河原出張所長 高比良 昇

平間出張所長 堀口 幸夫

加瀬出張所長 原 光生



編集後記

幸消防団だより第六十四号をお届けします。
発行に当たり、関係各位のご寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高橋 克明

編集 幸消防団広報部

副 団 長 上田 常晴

副 団 長 蒲田 賢

消防部長 中村 泰司

第一分団 生村 清

第二分団 木村 雅子

第三分団 鈴木 朋春

第四分団 遠藤 盛樹

第三分団 三原 幸恵子

第四分団 菅原 文夫

青木 真弓

消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。

- 資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人
 - ・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。
 - ・班長以上の階級に3年以上在職した団員は防火管理者の資格を得ることができます。

●問合せ先 幸消防署予防課

Tel : 044(511)0119 Fax : 044(544)0119